



議会 かわさき

発行 川崎市議会
編集 川崎市議会事務局 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1
☎044-200-3377 FAX044-200-3953

川崎市議会ホームページ
<http://www.city.kawasaki.jp/council/>

川崎市議会 検索



平成25年 第4回定例会 11/29~12/25

市営バスの乗車料金を定める条例を改正 委員会提案により「自殺対策の推進に関する条例」を制定

- **定例会の概要** (各議案の賛否状況などは、8面をご覧ください。)
- 今議会では、25年10月27日の市長選挙で当選した福田紀彦市長が「市政への考え方」を表明しました。
 - 消費税率及び地方消費税率の引き上げに伴い、市営バスの乗車料金を改定するための「乗合自動車乗車料条例の改正」など市長から提出された45議案を審議しました。
 - 委員会提出議案として自殺の防止などに対する市民の意識の高揚を図りつつ、市の状況に応じた自殺対策を総合的に推進する「自殺対策の推進に関する条例」を制定しました。
 - 意見書案5件について審議し、「ウイルス性肝炎患者等に対する医療費助成の拡充等を求める意見書案」など5件を可決しました。

- **主な活動状況**
- 本会議(11月29日)----- 議席の一部変更/市長「市政への考え方」の説明/市長提出議案の説明
 - 本会議(12月10、11日)----- 各会派による代表質問
 - 常任委員会(12月12、13日)----- 市長提出議案などの審査
 - 本会議(12月18日)----- 各常任委員会委員長による審査結果の報告、討論、採決/市長提出追加議案(人事案件)の議事/委員会提出議案の議事/意見書案に対する議事
 - 本会議(12月19、20、24、25日)----- 一般質問

かわさき市議会へ行こう!

vol.12 専修大学の学生が市議会を傍聴



生田緑地に隣接する専修大学・生田キャンパスで地方財政論や公共経済学を学ぶ4人の学生が、川崎市議会を傍聴しました。学生の皆さんをゼミで指導している同大学経済学部原田博夫教授も同席し、傍聴後の感想や議会運営についての意見など、さまざまな角度から市議会を語っていただきました。

※一部敬称略



正副議長とも懇談

専修大生 座談会

松本 ● 以前にテレビで議会の中継を見たことがありますが、傍聴は今回が初めて。実際の議場は、マイクがなくても大丈夫なんじゃないか、っていうぐらい近い距離感でしたね。それだけに緊迫した空気もものすごく伝わり、聞いている僕まで緊張しました。僕たちもプレゼンをすることがありますが、議員の皆さんはさすがにスムーズでしたね。

赤堀 ● 僕も初めての議会傍聴でした。予想していたのは、ニュースで流されている国会での議論のような光景。けれども、川崎市議会では、質問に対して淡々と答えていて、それが国会とは大きく違う点でした。でも、時折イレギュラーな質問があったりして、それに対して市長や市の職員が的確に答えていく——こんなふうにして川崎市は作られてきたんだな、というのが分かってよかったです。

国会でのような議論を想像していたので、静かだったのが意外!

有光 ● 議場に来たのは、小学校の社会科見学で国会議事堂を訪れて以来でしたが、本会議を目の当たりにしたのは、今回が初めてでした。国会ではやじが飛び交うなどざわついた印象がありますが、今日の議会での発言者は質問する議員さんと答弁する人と議長さんぐらいだったので、意外に静かだったなあという印象ですね。

神林 ● 私も初めて議会を傍聴したのですが、結構きれいな場所だと思いました。でも雰囲気はやっぱり堅いなと。皆さんそれぞれ市議会に対するイメージというのがあったと思うのですが、今日の傍聴でそれが変わった人はいますか?

有光 ● そのままでしたね。神林さんと同じく、僕も結構堅い感じだなと思っていました。市議会が入る庁舎の入口に着いた時点から、そう感じましたね。



3年 赤堀 匠さん

将来こうした所で活躍してみたい! そんな憧れを抱きました。

赤堀 ● 僕も、有光さんと似たようなイメージを持っていました。自分とは違う世界の話が展開されているのかな、と正直思っていたんです。けれども今日傍聴してみて、自分は公務員志望なので、将来こうした所で活躍してみたいという憧れがより強まりました。

松本 ● 民意の反映が叫ばれている今、傍聴席はある程度埋まっているだろうと思いつながら来たのですが、傍聴者が少なめでした。市政に積極的に参加する人は思いの外少ないように感じました。



2年 神林梨紗さん

気軽に入れる雰囲気になれば、傍聴者は増えると思います。

神林 ● 私は今日傍聴してみて、これからも足を運んでみたいと思いましたね。だから、もっと気軽になれる雰囲気になれば、傍聴者も増えそうな気がします。

赤堀 ● そう、入りやすい入口にするといいかもしれない。他に、議会のイメージアップにつながるようなアイデアはありますか?

有光 ● 答弁には事前に原稿が用意されているそうで

すが、逆にそれが傍聴する側に堅苦しく思わせてしまう要因かもしれないですね。それから、これは議員さんに対する提案なのですが、議場の中での話し合いだけではなく、駅前などで街頭演説するなどして、市議会や各議員自身の取り組みについてのPRをもっと行えば、無党派層のような方々にも響くのでは? という期待があります。

赤堀 ● 議会を傍聴する人は、率直に言ってあまり多くはないですね。今後、広報紙『議会かわさき』でこうした傍聴企画をもっと増やせば、市民が議会に対する親しみを覚えるんじゃないかと思いますが…。

市民の方も一度傍聴すれば、意識が少し変わってくるのでは?



3年 松本貴久さん

松本 ● 僕自身、今日参加してみて、川崎市議会のインターネット中継をもっと見ていこうという気になっています。ですから、市民の方も一度傍聴すれば、意識がちょっとでも変わるんじゃないか、そんなふうに感じました。

座談会を終えて…

学生たちは事前学習をそれぞれ進めていたよう

ですが、今日の座談会では活発な意見が交わされ、成長ぶりを実感できました。また、福田新市長の下での最初の議会をこうしたかたちで傍聴することができ、いい機会となりました。

原田博夫教授



社会知性の開発をめざす
専修大学 明治13(1880)年創立の私立大学。経済・法・経営・商・文・ネットワーク情報・人間科学部のほかに二部3学部が設置され、東京の神田キャンパスと多摩区の生田キャンパスで約2万人の学生が学んでいます。平成13(2001)年度から川崎市と「KSパートナーシップ・プログラム」を締結。大学での市職員による特別講座といった人的交流や、川崎市での専修大生インターンの受け入れといった連携・協力が行われています。

